

野生生物のダイオキシン類蓄積状況等調査結果について

(概要)

環境汚染の指標の一つとして野生生物（魚類、両生類、鳥類、海棲哺乳類、陸棲哺乳類）へのダイオキシン類の蓄積状況についての実態調査を行った結果、生態系の食物連鎖における高位捕食者では低位捕食者に比べて、高い蓄積量を示す傾向が認められた。また、陸棲生物では、相対的に PCDD+PCDF の蓄積量が高く、一方、海棲生物では、コプラナー PCB の蓄積量が高い傾向もみられた。

1 経緯

ダイオキシン問題については、人の健康に関わる環境保全上の重要な課題であるとともに、野生生物に対する影響も懸念されている。

化学物質などによる環境汚染の事故例では、人に影響が出る前に野生生物や家畜に影響がみられる可能性が報告されており、また、今後のダイオキシン類の削減対策の効果を生物への暴露の観点から把握できることから、野生生物が環境汚染の重要な指標となる可能性が示唆される。

このような状況の下、環境庁では、平成 10 年度に「野生生物のダイオキシン類汚染状況等調査研究班」を設置し、環境汚染の指標の一つとして野生生物（魚類、両生類、鳥類、海棲哺乳類、陸棲哺乳類）へのダイオキシン類の蓄積状況について調査を進めてきた結果、今般、報告書が取りまとめられたのでここに報告する。

なお、初年度にあたる今回の調査では、長期的なモニタリング対象となり得る指標生物の選定の意味も含めて、魚類（コイ）、両生類（カエル類）、鳥類（ドバト、トビ、猛禽類）、海棲哺乳類（クジラ類、アザラシ類）、陸棲哺乳類（アカネズミ、ニホンザル、クマ類、タヌキ、ニホンジカ）を対象に、数多くの種類についてダイオキシン類の蓄積状況の分析を行った。

2 調査結果の概要

(1) 魚類(コイ)

棲息環境

河川の中下流域から汽水域、池、湖沼に生息し、流れの穏やかな淵の底層部、砂泥底、下流域の捨て石やブロックの間、乱杭の周辺等を好む。

食性

底生動物を中心とした雑食性。仔魚期は水草の多く生えた止水でプランクトンや付着生物を摂餌する。稚魚期にはユスリカ類の幼虫をとるものが多い。成魚は、タニシ、シジミ等の貝類、ユスリカ幼虫、イトミミズ、ゴカイ類、付着珪藻等を摂取する。

検体数：48 検体

採取方法：網捕獲

試料：筋肉

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量（TEQ）

算出方法：湿重量あたり（参考として、脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）はWHO-TEF1998を使用

　　定量下限値を下回る異性体については0として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算した
　　TEQ値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

　　ダイオキシン類を毒性等量（魚類のTEF、括弧内は哺乳類のTEFで算出）で評価すると、

　　平均値1.3(3.0)pg-TEQ/g-湿重量、中央値1.1(2.8)pg-TEQ/g-湿重量、

　　検出範囲0.20(0.56)～5.9(11)pg-TEQ/g-湿重量

　　であった。

　　なお、コプラナーPCBの総TEQ値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、6.0(57)%であり、中央値で比較すると、5.7(52)%であった。

(2) 両生類（カエル類）

棲息環境

　　本調査対象のアカガエル類は沼、池及びその周辺、水田のまわりの草むら、休耕田、湿地などに多いが、やや乾燥した草地や明るい林床などでも見られ、主に陸上で生活する。

食性

　　幼生は雑食性だが成体は肉食性で、クモ、ハエ目、甲虫目、チョウ目の幼虫、ミミズ、ナメクジなどを食べる。

検体数：80検体

採取方法：ネット罠又は網捕獲

試料：全身

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として、脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）はWHO-TEF1998を使用

　　定量下限値を下回る異性体については0として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算した
　　TEQ値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

　　ダイオキシン類を毒性等量（魚類のTEF、括弧内は哺乳類のTEFで算出）で評価すると、

平均値 2.7(4.1)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 2.6(4.0)pg-TEQ/g-湿重量、
検出範囲 0.20(0.50) ~ 7.5(11)pg-TEQ/g-湿重量
であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、2.5(34)%であり、中央値で比較すると、2.5(33)%であった。

(3) 鳥類 (ドバト)

棲息環境

現在国内では、都市部・農村部・離島などで広く観察されており、特に最近は、都市中心部から郊外への分布の拡大が著しい。

食性

草食性で主に地上で採餌するが、人が与える配合粒餌やパン、米や飯、菓子類などが重要な部分を占めると考えられている。他に樹の果実や小型のカタツムリなども食べることがある。

検体数：15 検体

採取方法：有害鳥獣駆除個体

試料：筋肉・肝臓（一部、脂肪、腎臓を含む）

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998 を使用

定量下限値を異性体については0として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量（鳥類の TEF、括弧内は哺乳類の TEF で算出）で評価すると、

<筋肉・肝臓：5 検体>

平均値 0.98(0.79)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 0.99(0.67)pg-TEQ/g-湿重量、
検出範囲 0.55(0.40) ~ 1.3(1.3)pg-TEQ/g-湿重量

<筋肉・肝臓・腎臓：2 検体>

平均値 4.7(4.7)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 4.7(4.7)pg-TEQ/g-湿重量、
検出範囲 4.5(4.4) ~ 4.9(5.0)pg-TEQ/g-湿重量

<筋肉・肝臓・腎臓・脂肪：8 検体>

平均値 4.1(4.2)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 2.5(2.6)pg-TEQ/g-湿重量、
検出範囲 0.99(1.1) ~ 10(10)pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、29(29)%であり、中央値で比較すると、10(14)%であった。

(4) 鳥類 (トビ)

棲息環境

国内各地の平地から山地で見られ、主に都市部から周辺の農耕地にかけて生息するが、山岳地帯でも水辺のそばに生息する。河川や湖、湿地の近く、港などの開水面に近い場所を好む。通常は餌場周辺で生活しており、移動距離は1～3km程度であるが、渡りあるいは分散の時期には約10kmまで広がる。

食性

肉食性で、中・小型哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、クモ類、ミミズなどを食べる。

検体数：28 検体

採取方法：事故死体及び救護後死亡個体

試料：**筋肉、脂肪**

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）はWHO-TEF1998を使用

　　定量下限値を下回る異性体については0として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算したTEQ値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量（鳥類のTEF、括弧内は哺乳類のTEFで算出）で評価すると、

<筋肉：8検体>

　平均値89(100)pg-TEQ/g-湿重量、中央値40(42)pg-TEQ/g-湿重量、

　検出範囲9.4(11)～390(470)pg-TEQ/g-湿重量

<筋肉・脂肪：20検体>

　平均値99(86)pg-TEQ/g-湿重量、中央値92(78)pg-TEQ/g-湿重量、

　検出範囲22(13)～220(220)pg-TEQ/g-湿重量

であった。

　なお、コプラナーPCBの総TEQ値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、69(64)%であり、中央値で比較すると、67(66)%であった。

(5) 鳥類（猛禽類）

棲息環境

シマフクロウ：北海道内の一帯の川沿いや湖畔の森林に生息する留鳥。

他猛禽類：本調査対象種のうちアオバズクは夏鳥だが、他は国内では九州以北に分布する留鳥で、平地から山地の森林に生息。餌場としては森林の他、農耕地、河川敷、ゴルフ場などを利用する。

食性

肉食性で、小型哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類及び昆虫などを食べる。
シマフクロウは魚類が中心であり、小型のアオバズクは昆虫が中心であるが、他の調査対象種は哺乳類、鳥類を主に食べる。

検体数：9 検体

採取方法：回収死体

試料：**筋肉・脂肪、肝臓**

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998 を使用

　　定量下限値を下回る異性体については 0 として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量（鳥類の TEF、括弧内は哺乳類の TEF で算出）で評価すると、

<筋肉・脂肪：4 検体>

　　平均値 79(49)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 76(45)pg-TEQ/g-湿重量、

　　検出範囲 66(37) ~ 96(70)pg-TEQ/g-湿重量

<肝臓：5 検体>

　　平均値 160(120)pg-TEQ/g-湿重量、中央値 74(63)pg-TEQ/g-湿重量、

　　検出範囲 14(10) ~ 530(380)pg-TEQ/g-湿重量

であった。

　　なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、32(37)% であり、中央値で比較すると、45(63)% であった。

（6）海棲哺乳類（クジラ類）

棲息環境

外洋性のものが多いが、本調査対象種ではネズミイルカとスナメリは沿岸性である。

食性

肉食性で、ヒゲクジラ類は群集性の小魚やオキアミなどのプランクトンを食べるが、ハクジラ類は主に頭足類（イカなど）や魚類を食べる。スナメリはハクジラ類であるが、群集性の小魚、浅海の底棲性無脊椎動物を食べる。

検体数：22 検体

採取方法：漂着死体（ストランディング）など

試料：**脂肪**

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

　　定量下限値を下回る異性体については0として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算した

　　TEQ値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

　　ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

　　平均値 88pg-TEQ/g-湿重量、中央値 81pg-TEQ/g-湿重量、

　　検出範囲 1.3 ~ 200pg-TEQ/g-湿重量

　　であった。

　　なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、94 %であり、中央値で比較すると、93 %であった。

(7) 海棲哺乳類（アザラシ類）

棲息環境

日本近海では北海道の太平洋岸や、オホーツク海沿岸、日本海沿岸に分布する。

食性

肉食性で、沿岸性のミズダコを好み、他に魚類（カジカ類、カレイ、ギンポなど）を捕食する。

検体数：13 検体

採取方法：混獲死体又は漂着死体

試料：脂肪

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

　　毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

　　定量下限値を下回る異性体については0として算出

　　なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算した

　　TEQ値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

　　ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

　　平均値 17pg-TEQ/g-湿重量、中央値 17pg-TEQ/g-湿重量、

　　検出範囲 8.6 ~ 27pg-TEQ/g-湿重量

　　であった。

　　なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、84 %であり、中央値で比較すると、82 %であった。

(8) 陸棲哺乳類 (アカネズミ)

棲息環境

低地から高山帯の森林を中心に社寺林、農地周辺の森林、河川敷などに分布する。行動範囲は数 ha である。

食性

雑食性で、草本の根茎部、種子や木の実、昆虫類などを食べる。

検体数：37 検体

採取方法：ワナ捕獲

試料：**全身**

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

定量下限値を下回る異性体については0として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

平均値 39pg-TEQ/g-湿重量、中央値 35pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.52 ~ 120pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、29 %であり、中央値で比較すると、21 %であった。

(9) 陸棲哺乳類 (ニホンザル)

棲息環境

青森県から鹿児島県の森林に分布するが、農耕地にも現れることがある。群の行動範囲（遊動域）は 2 ~ 25km² 程度。

食性

雑食性で、樹上および地上で果実、種子、葉、芽、昆虫、小動物を採食するが、量的には植物が多い。農作物を食べることもある。

検体数：30 検体

採取方法：有害鳥獣駆除及び学術捕獲個体

試料：**脂肪、肝臓、筋肉**

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

定量下限値を下回る異性体については 0 として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

<脂肪：6 検体>

平均値 13pg-TEQ/g-湿重量、中央値 13pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 5.4 ~ 27pg-TEQ/g-湿重量

<筋肉：4 検体>

平均値 7.1pg-TEQ/g-湿重量、中央値 3.0pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.48 ~ 22pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・筋肉：10 検体>

平均値 4.4pg-TEQ/g-湿重量、中央値 2.9pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.33 ~ 18pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓：5 検体>

平均値 5.6pg-TEQ/g-湿重量、中央値 2.3pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 1.7 ~ 19pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓・筋肉：5 検体>

平均値 4.2pg-TEQ/g-湿重量、中央値 2.2pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.82 ~ 9.4pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、31 %であり、中央値で比較すると、30 %であった。

(10) 陸棲哺乳類（クマ類）

棲息環境

北海道、本州及び四国の冷温帯落葉広葉樹林（ブナ林）を中心に生息し、生活圏は数 ~ 80km²。冬季は樹洞や土穴で冬眠する。

食性

雑食性だが主に草食性で、樹木の芽や実、草本の茎、根、実などを食べるが、ハチやアリなどの昆虫、またシカ、カモシカなどの死体や仔ジカを捕食することもある。ヒグマの方が肉食性が強く、知床半島の一部ではサケ類も捕食する。

検体数：16 検体

採取方法：有害鳥獣駆除個体

試料：脂肪、肝臓

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

定量下限値を下回る異性体については 0 として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

<脂肪：10 検体>

平均値 0.45pg-TEQ/g-湿重量、中央値 0.29pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.080 ~ 2.1pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓：6 検体>

平均値 0.45pg-TEQ/g-湿重量、中央値 0.29pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.18 ~ 1.1pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、33 % であり、中央値で比較すると、24 % であった。

(11) 陸棲哺乳類（タヌキ）

棲息環境

平地から亜高山帯までの林や林縁、里山に生息する。郊外の住宅地に現れることがある。

食性

雑食性で果実、堅果、穀類、昆虫類、ミミズ、甲殻類、ヘビ、カエル、ノネズミ類、鳥類を食べる。甲虫の幼虫やミミズなどの土壤動物の採食量が比較的多い。

行動範囲は都市近郊では狭いが山間部では広く、数十 ha ~ 数百 ha 程度である。

検体数：11 検体

採取方法：救護後死亡個体及び有害鳥獣駆除個体

試料：脂肪、肝臓（一部、筋肉を含む）

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

定量下限値を下回る異性体については 0 として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の 1/2 及び 1 で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

<脂肪：1 検体>

28pg-TEQ/g-湿重量

<肝臓：4 検体>

平均値 23pg-TEQ/g-湿重量、中央値 21pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 9.7 ~ 42pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓：5 検体>

平均値 34pg-TEQ/g-湿重量、中央値 19pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 13 ~ 100pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓・筋肉：1 検体>

9.7pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、31 %であり、中央値で比較すると、33 %であった。

(12) 陸棲哺乳類（ニホンジカ）

棲息環境

主に山間部の森林の林縁部に生息。積雪地では季節移動をするため、行動範囲には地域差があり、0.6-1.4km²と小さいものから20km²に及ぶ地域もある。

食性

草食性でシイ、タブ等の木の葉、イネ科草本、カシ類のドングリ、ササなどを食べる。

検体数：78 検体

採取方法：有害鳥獣駆除及び学術捕獲個体

試料：肝臓、腎臓、脂肪

測定項目

ダイオキシン類：濃度、毒性等量

算出方法：湿重量あたり（参考として脂肪重量あたりを別添）

毒性等価係数（TEF）は WHO-TEF1998（哺乳類）を使用

定量下限値を下回る異性体については0として算出

なお、定量下限値を下回る濃度を定量下限値の1/2及び1で換算した TEQ 値も参考として別表に表示

分析方法（マニュアル参照）

調査結果（別添参照）

ダイオキシン類を毒性等量で評価すると、

<肝臓：25 検体>

平均値 3.5pg-TEQ/g-湿重量、中央値 3.3pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.93 ~ 10pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・肝臓：5 検体>

平均値 4.5pg-TEQ/g-湿重量、中央値 5.2pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 1.4 ~ 6.1pg-TEQ/g-湿重量

<腎臓：28 検体>

平均値 1.9pg-TEQ/g-湿重量、中央値 0.71pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 0.43 ~ 11pg-TEQ/g-湿重量

<脂肪・腎臓：20 検体>

平均値 5.3pg-TEQ/g-湿重量、中央値 4.8pg-TEQ/g-湿重量、

検出範囲 2.0 ~ 10pg-TEQ/g-湿重量

であった。

なお、コプラナー PCB の総 TEQ 値に占める割合は、全体の平均値で比較すると、36 %であり、中央値で比較すると、32 %であった。

3 本調査結果に対する研究班としての評価

本調査結果から、トビ、猛禽類など生態系の食物連鎖における高位捕食者では低位捕食者にて、高い蓄積量を示す傾向が認められた。また、陸棲生物では、相対的に PCDD+PCDF の蓄積量が高く、一方、海棲生物では、コプラナー PCB の蓄積量が高い傾向がみられた。

しかしながら、本調査は、個体ごとに採取時の条件や試料が異なり、また種の大きさ、脂肪含量の違い、件数の少なさなどから、種及び地域による差等は十分解明できなかつた。

4 今後の予定

今後は、ダイオキシン類が高濃度に蓄積していると考えられる鳥類、海棲哺乳類等を対象として、現状のダイオキシン類の蓄積状況を把握するとともに、今後の「ダイオキシン類対策特別措置法」や「ダイオキシン対策推進基本指針」に基づき実施される対策の効果を検証することを目的として、今回の結果を踏まえて対象となる生物をしづらって調査を行う予定である。

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	脂肪含量	PCDDs	PCDFs	PCDDs+PCDFs	Coplanar PCBs	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs
単位	%	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g
コイ N=48	平均値	1.8	0.72(0.70)	0.50(0.56)	1.2(1.3)	0.078(1.7)
	中央値	1.3	0.60(0.60)	0.37(0.43)	1.1(1.1)	0.065(1.5)
	最大値	4.9	2.9(2.9)	2.7(2.8)	5.6(5.7)	0.32(6.5)
	最小値	0.49	0.11(0.11)	0.056(0.066)	0.20(0.20)	0.0069(0.34)
カエル類 N=80	平均値	1.1	1.3(1.2)	1.3(1.5)	2.6(2.7)	0.066(1.4)
	中央値	1.0	1.2(1.1)	1.3(1.5)	2.5(2.6)	0.064(1.3)
	最大値	2.8	3.6(3.3)	3.7(4.0)	7.3(7.3)	0.15(3.3)
	最小値	0.50	0.00057(0.0060)	0.18(0.23)	0.18(0.24)	0.012(0.26)
ドバト (筋肉・肝臓) N=5	平均値	5.3	0.077(0.11)	0.68(0.35)	0.76(0.45)	0.23(0.34)
	中央値	5.0	0.0048(0.053)	0.54(0.28)	0.74(0.51)	0.12(0.19)
	最大値	6.1	0.20(0.24)	1.0(0.53)	1.2(0.77)	0.71(1.1)
	最小値	5.0	<0.27(0.00027)	0.35(0.18)	0.35(0.18)	0.012(0.060)
(筋肉・肝臓・腎臓) N=2	平均値	4.9	2.7(3.4)	1.9(1.1)	4.6(4.5)	0.18(0.23)
	中央値	4.9	2.7(3.4)	1.9(1.1)	4.6(4.5)	0.18(0.23)
	最大値	5.7	3.1(3.6)	2.4(1.5)	4.7(4.8)	0.23(0.27)
	最小値	4.2	2.3(3.3)	1.3(0.70)	4.4(4.3)	0.12(0.18)
(筋肉・肝臓・腎臓 ・脂肪) N=8	平均値	7.8	1.4(2.0)	1.2(0.75)	2.6(2.8)	1.5(1.5)
	中央値	7.5	0.86(1.4)	1.1(0.63)	2.3(2.4)	0.14(0.22)
	最大値	11	3.1(4.4)	2.3(1.4)	5.4(5.7)	6.3(5.9)
	最小値	4.4	0.35(0.50)	0.36(0.24)	0.88(0.80)	0.0050(0.024)
トリ (筋肉) N=8	平均値	6.0	11(11)	6.4(3.2)	17(15)	72(89)
	中央値	4.5	4.9(5.1)	3.3(1.6)	9.7(7.3)	26(27)
	最大値	14	27(28)	29(15)	51(38)	340(430)
	最小値	1.8	1.0(1.1)	0.86(0.41)	2.8(2.2)	6.6(8.9)
(筋肉・脂肪) N=20	平均値	16	21(22)	14(7.2)	35(29)	65(57)
	中央値	16	14(14)	12(5.5)	25(20)	60(58)
	最大値	28	100(110)	28(15)	130(120)	150(100)
	最小値	7.6	3.3(3.4)	5.1(2.4)	8.5(5.8)	13(7.0)
猛禽類(シマフクロウ) (筋肉・脂肪) N=4	平均値	23	6.3(6.5)	16(4.4)	23(11)	56(39)
	中央値	21	6.3(6.4)	15(4.0)	20(10)	57(36)
	最大値	43	7.5(7.7)	26(6.3)	33(14)	76(59)
	最小値	7.5	5.3(5.5)	10(3.3)	17(9.3)	33(23)
猛禽類(その他) (肝臓) N=5	平均値	10	20(24)	110(59)	130(83)	25(33)
	中央値	11	16(20)	31(16)	58(46)	16(17)
	最大値	13	49(58)	410(220)	460(270)	70(110)
	最小値	8.3	1.5(1.8)	6.8(3.4)	8.3(5.1)	5.6(5.2)
クジラ類 (脂肪) N=22	平均値	77	2.4	3.1	5.5	83
	中央値	82	2.1	3.2	5.6	75
	最大値	98	10	7.5	16	200
	最小値	36	0.082	<0.05	0.19	0.92
アザラシ類 (脂肪) N=13	平均値	86	2.1	0.66	2.7	14
	中央値	83	2.2	0.63	2.9	14
	最大値	98	3.0	0.95	3.9	24
	最小値	77	0.95	0.33	1.3	7.3
アカネズミ (全身) N=37	平均値	4.7	3.3	24	28	11
	中央値	4.1	1.3	18	20	7.4
	最大値	11	22	71	77	60
	最小値	2.2	0.00088	0.32	0.32	0.11
ニホンザル (脂肪) N=6	平均値	75	4.6	4.4	9.1	4.2
	中央値	74	5.1	4.4	9.5	3.6
	最大値	90	8.5	8.2	17	10
	最小値	53	1.5	2.1	3.6	1.8

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果
(湿重量当たり毒性等量)

種名	脂肪含量	PCDDs	PCDFs	PCDDs+PCDFs	Coplanar PCBs	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	
単位	%	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g	pgTEQ/g	
ニホンザル (筋肉) N=4	平均値	25	2.9	2.0	4.9	2.2	7.1
	中央値	16	0.96	1.2	2.2	0.81	3.0
	最大値	59	9.5	5.4	15	7.0	22
	最小値	11	0.16	0.13	0.28	0.20	0.48
(脂肪・筋肉) N=10	平均値	38	1.6	1.4	3.1	1.3	4.4
	中央値	35	0.63	1.1	1.8	1.0	2.9
	最大値	63	7.5	5.2	13	5.5	18
	最小値	20	0.039	0.21	0.24	0.082	0.33
(脂肪・肝臓) N=5	平均値	35	2.0	1.9	3.8	1.7	5.6
	中央値	36	0.81	0.83	1.7	0.89	2.3
	最大値	55	7.2	6.2	13	5.8	19
	最小値	3.6	0.44	0.73	1.2	0.50	1.7
(脂肪・肝臓・筋肉) N=5	平均値	39	1.7	1.3	2.9	1.3	4.2
	中央値	36	0.59	1.0	1.6	0.61	2.2
	最大値	57	3.9	2.8	6.6	2.8	9.4
	最小値	26	0.28	0.23	0.51	0.31	0.82
クマ類 (脂肪) N=10	平均値	88	0.13	0.13	0.26	0.18	0.45
	中央値	91	0.097	0.083	0.19	0.10	0.29
	最大値	96	0.50	0.47	1.0	1.1	2.1
	最小値	70	0.000055	0.044	0.057	0.023	0.080
(脂肪・肝臓) N=6	平均値	77	0.061	0.30	0.36	0.086	0.45
	中央値	82	0.070	0.16	0.24	0.051	0.29
	最大値	90	0.11	0.71	0.78	0.28	1.1
	最小値	49	0.0023	0.13	0.15	0.019	0.18
タヌキ (肝臓) N=4	平均値	10	4.2	17	20	2.5	23
	中央値	11	3.3	12	17	1.6	21
	最大値	14	8.6	35	40	6.2	42
	最小値	4.1	1.4	7.4	8.8	0.64	9.7
(脂肪・肝臓) N=5	平均値	76	14	6.0	20	14	34
	中央値	76	8.6	4.6	13	6.4	19
	最大値	97	43	11	54	46	100
	最小値	55	5.6	2.1	10	2.7	13
(脂肪) N=1	82	10	6.3	17	11	2.4	28
(脂肪・肝臓・筋肉) N=1	66	5.6	1.7	7.3	2.4	9.7	
ニホンジカ (肝臓) N=25	平均値	7.1	0.61	1.9	2.5	1.0	3.5
	中央値	6.8	0.40	1.3	1.7	0.96	3.3
	最大値	11	2.1	6.6	8.7	4.2	10
	最小値	4.0	0.0031	0.29	0.39	0.38	0.93
(脂肪・肝臓) N=5	平均値	23	0.52	2.7	3.2	1.3	4.5
	中央値	26	0.62	2.8	3.6	1.2	5.2
	最大値	29	0.81	3.6	4.2	2.0	6.1
	最小値	10	0.00025	0.72	0.72	0.64	1.4
(腎臓) N=28	平均値	5.9	0.90	0.60	1.5	0.35	1.9
	中央値	4.4	0.36	0.28	0.60	0.11	0.71
	最大値	15	5.8	3.1	8.9	1.9	11
	最小値	2.0	0.19	0.14	0.37	0.044	0.43
(脂肪・腎臓) N=20	平均値	34	1.4	1.2	2.6	2.7	5.3
	中央値	37	1.2	1.1	2.3	2.3	4.8
	最大値	54	2.7	2.3	4.9	5.5	10
	最小値	12	0.47	0.49	0.99	0.98	2.0

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果
 (脂肪重量当たり毒性等量)
 (コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

名 種	脂 肪 含 量	PCDDs		PCDFs		Coplanar PCBs	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	
		単位	%	pgTEQ/g	pgTEQ/g			
コイ	平均値	1.8		49(48)	29(32)	78(81)	5.0(130)	83(210)
	中央値	1.3		36(36)	24(28)	63(65)	3.8(91)	66(150)
	N=48 最大値	4.9		270(260)	110(110)	370(360)	18(550)	380(840)
	最小値	0.49		7.9(7.9)	6.1(6.4)	14(14)	0.50(28)	14(42)
カエル類	平均値	1.1		120(110)	130(48)	240(160)	6.1(130)	250(290)
	中央値	1.0		97(93)	110(1.2)	210(99)	5.5(120)	210(230)
	N=80 最大値	2.8		340(310)	320(340)	660(640)	19(390)	680(970)
	最小値	0.50		0.088(0.93)	18(0.20)	28(1.3)	0.57(12)	30(28)
ドバト	平均値	6.6		19(26)	20(12)	39(38)	13(13)	51(51)
	中央値	5.7		7.4(9.8)	14(7.2)	21(16)	2.4(4.0)	22(22)
	N=15 最大値	11		54(78)	58(36)	110(110)	77(73)	150(150)
	最小値	4.2		<4.4(0.0050)	3.2(2.1)	6.5(3.3)	0.047(0.23)	9.0(7.4)
トビ	平均値	13		210(220)	130(66)	340(280)	1,000(1,100)	1,400(1,400)
	中央値	14		80(83)	78(41)	180(130)	450(380)	580(490)
	N=28 最大値	28		950(990)	1,100(575)	1,900(1,400)	13,000(16,000)	15,000(18,000)
	最小値	1.8		10(10)	10(5.3)	20(15)	47(45)	66(78)
猛禽類	平均値	16		110(130)	580(290)	680(420)	280(270)	970(690)
	中央値	11		71(73)	200(56)	270(130)	300(170)	480(400)
	N=9 最大値	43		380(450)	3,200(1,700)	3,500(2,100)	620(820)	4,100(2,900)
	最小値	7.5		17(18)	56(13)	77(33)	65(54)	150(86)
クジラ類	平均値	77		3.0	4.0	6.9	113	120
	中央値	82		2.6	4.2	7.0	93	99
	N=22 最大値	98		10	9.7	19	450	470
	最小値	36		0.10	<0.07	0.22	2.6	3.5
アザラシ類	平均値	86		2.5	0.77	3.2	16	20
	中央値	83		2.5	0.71	3.2	16	20
	N=13 最大値	98		3.7	1.2	4.6	28	31
	最小値	77		1.1	0.40	1.5	8.9	10
アカネズミ	平均値	4.7		81	620	710	260	970
	中央値	4.1		24	440	480	180	860
	N=37 最大値	11		540	1,900	2,000	1,500	2,900
	最小値	2.2		0.021	7.7	7.7	1.7	12
ニホンザル	平均値	43		8.6	7.1	16	6.8	23
	中央値	40		3.5	3.1	6.6	3.2	10
	N=30 最大値	90		83	47	130	61	190
	最小値	3.6		0.12	0.21	0.48	0.26	0.82
クマ類	平均値	84		0.12	0.26	0.39	0.26	0.65
	中央値	87		0.11	0.17	0.26	0.091	0.34
	N=16 最大値	96		0.56	1.5	1.6	1.7	3.3
	最小値	49		0.000059	0.048	0.082	0.026	0.12
タヌキ	平均値	51		36	76	110	26	140
	中央値	66		12	10	20	10	34
	N=11 最大値	97		210	370	470	150	620
	最小値	4.1		7.3	2.6	11	3.6	15
ニホンジカ	平均値	15		11	17	28	10	38
	中央値	8		6.1	7.8	14	6.7	18
	N=78 最大値	54		180	170	280	69	330
	最小値	2.0		0.0012	1.2	2.8	0.46	3.2

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その1)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	*注)	平均値	中央値	最大値	最小値
コイ N=48	脂肪含量	%		1.8	1.3	4.9	0.49
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.72(0.70)	0.60(0.60)	2.9(2.9)	0.11(0.11)
			ND=1/2*QL	0.73(0.71)	0.62(0.60)	2.9(2.9)	0.16(0.15)
			ND=1*QL	0.74(0.72)	0.62(0.61)	2.9(2.9)	0.21(0.19)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.50(0.56)	0.37(0.43)	2.7(2.8)	0.056(0.066)
			ND=1/2*QL	0.52(0.58)	0.39(0.44)	2.7(2.8)	0.077(0.088)
			ND=1*QL	0.53(0.59)	0.40(0.45)	2.7(2.8)	0.098(0.11)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.2(1.3)	1.1(1.1)	5.6(5.7)	0.20(0.20)
			ND=1/2*QL	1.2(1.3)	1.1(1.1)	5.6(5.7)	0.27(0.26)
			ND=1*QL	1.3(1.3)	1.1(1.1)	5.6(5.7)	0.34(0.33)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.078(1.7)	0.065(1.5)	0.32(6.5)	0.0069(0.34)
			ND=1/2*QL	0.078(1.7)	0.065(1.5)	0.32(6.5)	0.0069(0.34)
			ND=1*QL	0.078(1.7)	0.065(1.5)	0.32(6.5)	0.0069(0.34)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3(3.0)	1.1(2.8)	5.9(11)	0.20(0.56)
			ND=1/2*QL	1.3(3.0)	1.1(2.9)	5.9(11)	0.27(0.62)
			ND=1*QL	1.4(3.0)	1.2(2.9)	5.9(11)	0.35(0.68)
カエル類 N=80	脂肪含量	%		1.1	1.0	2.8	0.50
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3(1.2)	1.2(1.1)	3.6(3.3)	0.00057(0.0060)
			ND=1/2*QL	1.3(1.2)	1.3(1.2)	3.6(3.3)	0.27(0.27)
			ND=1*QL	1.4(1.3)	1.4(1.2)	3.6(3.3)	0.37(0.34)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3(1.5)	1.3(1.5)	3.7(4.0)	0.18(0.23)
			ND=1/2*QL	1.4(1.5)	1.3(1.5)	3.7(4.0)	0.29(0.33)
			ND=1*QL	1.4(1.6)	1.4(1.5)	3.8(4.0)	0.34(0.39)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.6(2.7)	2.5(2.6)	7.3(7.3)	0.18(0.24)
			ND=1/2*QL	2.7(2.7)	2.6(2.7)	7.3(7.3)	0.61(0.61)
			ND=1*QL	2.8(2.8)	2.8(2.8)	7.3(7.4)	0.72(0.73)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.066(1.4)	0.064(1.3)	0.15(3.3)	0.012(0.26)
			ND=1/2*QL	0.066(1.4)	0.064(1.3)	0.15(3.3)	0.012(0.26)
			ND=1*QL	0.066(1.4)	0.064(1.3)	0.15(3.3)	0.012(0.26)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.7(4.1)	2.6(4.0)	7.5(11)	0.20(0.50)
			ND=1/2*QL	2.8(4.1)	2.7(4.1)	7.5(11)	0.62(0.88)
			ND=1*QL	2.8(4.2)	2.9(4.3)	7.5(11)	0.73(1.0)
トバト (筋肉・肝臓) N=5	脂肪含量	%		5.3	5.0	6.1	5.0
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.077(0.11)	0.0048(0.053)	0.20(0.24)	<0.27(0.00027)
			ND=1/2*QL	0.26(0.30)	0.27(0.32)	0.31(0.36)	0.16(0.18)
			ND=1*QL	0.44(0.50)	0.37(0.41)	0.63(0.71)	0.32(0.37)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.68(0.35)	0.54(0.28)	1.0(0.53)	0.35(0.18)
			ND=1/2*QL	0.85(0.43)	0.79(0.40)	1.2(0.60)	0.49(0.24)
			ND=1*QL	1.0(0.52)	1.1(0.53)	1.4(0.71)	0.62(0.31)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.76(0.45)	0.74(0.51)	1.2(0.77)	0.35(0.18)
			ND=1/2*QL	1.1(0.74)	1.1(0.76)	1.5(0.93)	0.65(0.43)
			ND=1*QL	1.5(1.0)	1.6(1.0)	2.0(1.3)	0.95(0.68)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.23(0.34)	0.12(0.19)	0.71(1.1)	0.012(0.060)
			ND=1/2*QL	0.25(0.34)	0.14(0.19)	0.71(1.1)	0.074(0.085)
			ND=1*QL	0.27(0.35)	0.15(0.19)	0.71(1.1)	0.14(0.11)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.98(0.79)	0.99(0.67)	1.3(1.3)	0.55(0.40)
			ND=1/2*QL	1.4(1.1)	1.5(1.0)	1.8(1.8)	0.85(0.65)
			ND=1*QL	1.7(1.4)	1.7(1.2)	2.4(2.3)	1.1(0.90)
(筋肉・肝臓・腎臓) N=2	脂肪含量	%		4.9	4.9	5.7	4.2
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.7(3.4)	2.7(3.4)	3.1(3.6)	2.3(3.3)
			ND=1/2*QL	2.7(3.4)	2.7(3.4)	3.1(3.6)	2.3(3.3)
			ND=1*QL	2.7(3.4)	2.7(3.4)	3.1(3.6)	2.3(3.3)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.9(1.1)	1.9(1.1)	2.4(1.5)	1.3(0.70)
			ND=1/2*QL	1.9(1.1)	1.9(1.1)	2.5(1.5)	1.4(0.72)
			ND=1*QL	2.0(1.1)	2.0(1.1)	2.6(1.6)	1.4(0.73)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.6(4.5)	4.6(4.5)	4.7(4.8)	4.4(4.3)
			ND=1/2*QL	4.6(4.5)	4.6(4.5)	4.8(4.8)	4.5(4.3)
			ND=1*QL	4.7(4.6)	4.7(4.6)	4.9(4.8)	4.5(4.3)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.18(0.23)	0.18(0.23)	0.23(0.27)	0.12(0.18)
			ND=1/2*QL	0.19(0.23)	0.19(0.23)	0.25(0.27)	0.13(0.18)
			ND=1*QL	0.20(0.23)	0.20(0.23)	0.26(0.27)	0.14(0.18)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.7(4.7)	4.7(4.7)	4.9(5.0)	4.5(4.4)
			ND=1/2*QL	4.8(4.8)	4.8(4.8)	5.0(5.1)	4.6(4.5)
			ND=1*QL	4.9(4.8)	4.9(4.8)	5.1(5.1)	4.6(4.5)

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その2)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	(注)	平均値	中央値	最大値	最小値
ドバト (筋肉・肝臓・腎臓・脂肪) N=8	脂肪含量	%		7.8	7.5	11	4.4
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.4(2.0)	0.86(1.4)	3.1(4.4)	0.35(0.50)
			ND=1/2*QL	1.4(2.1)	0.90(1.5)	3.2(4.4)	0.40(0.55)
			ND=1*QL	1.5(2.1)	0.95(1.5)	3.2(4.4)	0.45(0.60)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.2(0.75)	1.1(0.63)	2.3(1.4)	0.36(0.24)
			ND=1/2*QL	1.3(0.77)	1.2(0.65)	2.4(1.4)	0.41(0.25)
			ND=1*QL	1.3(0.78)	1.2(0.67)	2.4(1.4)	0.47(0.27)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.6(2.8)	2.3(2.4)	5.4(5.7)	0.88(0.80)
			ND=1/2*QL	2.7(2.8)	2.4(2.5)	5.5(5.8)	0.99(0.87)
			ND=1*QL	2.8(2.9)	2.5(2.5)	5.6(5.8)	1.1(0.94)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.5(1.5)	0.14(0.22)	6.3(5.9)	0.0050(0.024)
			ND=1/2*QL	1.5(1.5)	0.14(0.22)	6.3(5.9)	0.030(0.034)
			ND=1*QL	1.5(1.5)	0.15(0.22)	6.3(5.9)	0.055(0.044)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.1(4.2)	2.5(2.6)	10(10)	0.99(1.1)
			ND=1/2*QL	4.2(4.3)	2.6(2.7)	11(10)	1.1(1.2)
			ND=1*QL	4.3(4.3)	2.7(2.7)	11(10)	1.2(1.2)
トビ (筋肉) N=8	脂肪含量	%		6.0	4.5	14	1.8
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	11(11)	4.9(5.1)	27(28)	1.0(1.1)
			ND=1/2*QL	11(11)	4.9(5.1)	27(28)	1.0(1.1)
			ND=1*QL	11(11)	4.9(5.1)	27(28)	1.0(1.2)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	6.4(3.2)	3.3(1.6)	29(15)	0.86(0.41)
			ND=1/2*QL	6.4(3.3)	3.2(1.6)	29(15)	0.89(0.44)
			ND=1*QL	6.5(3.3)	3.3(1.6)	29(15)	0.93(0.47)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	17(15)	9.7(7.3)	51(38)	2.8(2.2)
			ND=1/2*QL	17(15)	9.5(7.3)	51(38)	3.0(2.2)
			ND=1*QL	17(15)	9.5(7.3)	51(38)	3.1(2.3)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	72(89)	26(27)	340(430)	6.6(8.9)
			ND=1/2*QL	72(89)	26(27)	340(430)	6.6(8.9)
			ND=1*QL	73(89)	27(27)	350(430)	6.3(9.0)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	89(100)	40(42)	390(470)	9.4(11)
			ND=1/2*QL	89(100)	40(42)	390(470)	9.6(11)
			ND=1*QL	90(100)	41(42)	400(470)	9.4(11)
(筋肉・脂肪) N=20	脂肪含量	%		16	16	28	7.6
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	21(22)	14(14)	100(110)	3.3(3.4)
			ND=1/2*QL	21(22)	14(14)	100(110)	3.3(3.4)
			ND=1*QL	21(22)	14(14)	100(110)	3.3(3.4)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	14(7.2)	12(5.5)	28(15)	5.1(2.4)
			ND=1/2*QL	14(7.3)	12(5.5)	28(15)	5.1(2.4)
			ND=1*QL	14(7.3)	12(5.5)	28(15)	5.1(2.4)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	35(29)	25(20)	130(120)	8.5(5.8)
			ND=1/2*QL	35(29)	25(20)	130(120)	8.5(5.8)
			ND=1*QL	35(29)	25(20)	130(120)	8.5(5.9)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	65(57)	60(58)	150(100)	13(7.0)
			ND=1/2*QL	65(57)	60(58)	150(100)	13(7.0)
			ND=1*QL	65(57)	60(58)	150(100)	13(7.0)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	99(86)	92(78)	220(220)	22(13)
			ND=1/2*QL	99(86)	92(78)	220(220)	22(13)
			ND=1*QL	99(86)	92(78)	220(220)	22(13)
猛禽類(シマフクロウ) (筋肉・脂肪) N=4	脂肪含量	%		23	21	43	7.5
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	6.3(6.5)	6.3(6.4)	7.5(7.7)	5.3(5.5)
			ND=1/2*QL	6.3(6.5)	6.3(6.4)	7.5(7.7)	5.3(5.5)
			ND=1*QL	6.3(6.5)	6.3(6.4)	7.5(7.7)	5.3(5.5)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	16(4.4)	15(4.0)	26(6.3)	10(3.3)
			ND=1/2*QL	16(4.4)	15(4.0)	26(6.3)	10(3.3)
			ND=1*QL	16(4.4)	15(4.0)	26(6.3)	10(3.3)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	23(11)	20(10)	33(14)	17(9.3)
			ND=1/2*QL	23(11)	20(10)	33(14)	17(9.4)
			ND=1*QL	23(11)	20(10)	33(14)	17(9.4)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	56(39)	57(36)	76(59)	33(23)
			ND=1/2*QL	56(39)	57(36)	77(59)	33(23)
			ND=1*QL	56(39)	57(36)	77(59)	33(23)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	79(49)	76(45)	96(70)	66(37)
			ND=1/2*QL	79(49)	76(45)	97(70)	66(37)
			ND=1*QL	79(49)	76(45)	97(70)	66(37)

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その3)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	*注)	平均値	中央値	最大値	最小値
猛禽類(その他) (肝臓) N=5	脂肪含量	%		10	11	13	8.3
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	20(24) 20(24) 21(24)	16(20) 16(20) 16(20)	49(58) 49(58) 48(58)	1.5(1.8) 1.5(1.8) 1.5(1.8)
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	110(59) 110(59) 110(59)	31(16) 31(16) 31(16)	410(220) 410(220) 410(220)	6.8(3.4) 6.8(3.4) 6.9(3.4)
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	130(83) 130(83) 130(83)	58(46) 59(46) 59(46)	460(270) 460(270) 460(270)	8.3(5.1) 8.3(5.2) 8.4(5.2)
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	25(33) 25(33) 25(33)	16(17) 16(17) 16(17)	70(110) 70(110) 70(110)	5.6(5.2) 5.6(5.2) 5.6(5.2)
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	160(120) 160(120) 160(120)	74(63) 74(63) 75(63)	530(380) 530(380) 530(380)	14(10) 14(10) 14(10)
クジラ類 (脂肪) N=22	脂肪含量	%		77	82	98	36
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	2.4 2.4 2.4	2.1 2.2 2.2	10 10 10	0.082 0.14 0.20
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	3.1 3.1 3.1	3.2 3.2 3.2	7.5 7.5 7.5	<0.05 0.037 0.075
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	5.5 5.5 5.5	5.6 5.7 5.7	16 16 16	0.19 0.26 0.33
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	83 83 83	75 75 75	200 200 200	0.92 0.92 0.92
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	88 89 89	81 81 81	200 200 200	1.3 1.3 1.4
アザラシ類 (脂肪) N=13	脂肪含量	%		86	83	98	77
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	2.1 2.1 2.1	2.2 2.2 2.2	3.0 3.0 3.0	0.95 0.96 0.97
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	0.66 0.67 0.69	0.63 0.64 0.65	0.95 0.98 0.99	0.33 0.35 0.37
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	2.7 2.8 2.8	2.9 2.9 3.0	3.9 3.9 3.9	1.3 1.3 1.3
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	14 14 14	14 14 14	24 24 24	7.3 7.3 7.3
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	17 17 17	17 17 17	27 27 27	8.6 8.6 8.7
アカネズミ (全身) N=37	脂肪含量	%		4.7	4.1	11	2.2
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	3.3 3.9 4.5	1.3 2.0 2.8	22 22 23	0.00088 0.42 0.81
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	24 25 25	18 18 18	71 71 71	0.32 0.50 0.67
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	28 28 29	20 20 21	77 78 78	0.32 1.1 1.7
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	11 11 11	7.4 7.4 7.4	60 60 60	0.11 0.12 0.12
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL ND=1/2*QL ND=1*QL	39 40 40	35 36 37	120 120 120	0.52 1.3 1.9

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その4)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	(注)	平均値	中央値	最大値	最小値
ニホンザル (脂肪) N=6	脂肪含量	%		75	74	90	53
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.6	5.1	8.5	1.5
			ND=1/2*QL	4.6	5.1	8.5	1.7
			ND=1*QL	4.6	5.1	8.5	1.9
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.4	4.4	8.2	2.1
			ND=1/2*QL	4.4	4.4	8.2	2.1
			ND=1*QL	4.4	4.4	8.2	2.1
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	9.1	9.5	17	3.6
			ND=1/2*QL	9.1	9.5	17	3.9
			ND=1*QL	9.1	9.5	17	4.0
(筋肉) N=4	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.2	3.6	10	1.8
			ND=1/2*QL	4.2	3.6	10	1.8
			ND=1*QL	4.2	3.6	10	1.8
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	13	13	27	5.4
			ND=1/2*QL	13	13	27	5.7
			ND=1*QL	13	13	27	5.8
	脂肪含量	%		25	16	59	11
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.9	0.96	9.5	0.16
			ND=1/2*QL	2.9	0.96	9.5	0.22
			ND=1*QL	2.9	0.96	9.5	0.27
(脂肪・筋肉) N=10	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.0	1.2	5.4	0.13
			ND=1/2*QL	2.0	1.2	5.4	0.16
			ND=1*QL	2.0	1.2	5.4	0.19
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.9	2.2	15	0.28
			ND=1/2*QL	4.9	2.2	15	0.37
			ND=1*QL	4.9	2.2	15	0.46
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.2	0.81	7.0	0.20
			ND=1/2*QL	2.2	0.81	7.0	0.20
			ND=1*QL	2.2	0.81	7.0	0.20
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	7.1	3.0	22	0.48
			ND=1/2*QL	7.1	3.0	22	0.57
			ND=1*QL	7.1	3.0	22	0.66
(脂肪・肝臓) N=5	脂肪含量	%		38	35	63	20
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.6	0.63	7.5	0.039
			ND=1/2*QL	1.7	0.65	7.5	0.094
			ND=1*QL	1.7	0.67	7.5	0.15
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.4	1.1	5.2	0.21
			ND=1/2*QL	1.4	1.1	5.2	0.21
			ND=1*QL	1.4	1.1	5.2	0.22
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	3.1	1.8	13	0.24
			ND=1/2*QL	3.1	1.8	13	0.31
			ND=1*QL	3.1	1.8	13	0.37
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3	1.0	5.5	0.082
			ND=1/2*QL	1.3	1.0	5.5	0.082
			ND=1*QL	1.3	1.0	5.5	0.082
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.4	2.9	18	0.33
			ND=1/2*QL	4.4	2.9	18	0.39
			ND=1*QL	4.5	2.9	18	0.45
(脂肪・肝臓) N=5	脂肪含量	%		35	36	55	3.6
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.0	0.81	7.2	0.44
			ND=1/2*QL	2.0	0.81	7.2	0.44
			ND=1*QL	2.0	0.81	7.2	0.44
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.9	0.83	6.2	0.73
			ND=1/2*QL	1.9	0.83	6.2	0.75
			ND=1*QL	1.9	0.83	6.2	0.76
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	3.8	1.7	13	1.2
			ND=1/2*QL	3.9	1.7	13	1.2
			ND=1*QL	3.9	1.7	13	1.2
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.7	0.89	5.8	0.50
			ND=1/2*QL	1.8	0.89	5.8	0.50
			ND=1*QL	1.8	0.89	5.8	0.50
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	5.6	2.3	19	1.7
			ND=1/2*QL	5.6	2.3	19	1.7
			ND=1*QL	5.6	2.3	19	1.7

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その5)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	注)	平均値	中央値	最大値	最小値
ニホンザル (脂肪・肝臓・筋肉) N=5	脂肪含量	%		39	36	57	26
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.7	0.59	3.9	0.28
			ND=1/2*QL	1.7	0.59	3.9	0.29
			ND=1*QL	1.7	0.59	3.9	0.30
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3	1.0	2.8	0.23
			ND=1/2*QL	1.3	1.0	2.8	0.25
			ND=1*QL	1.3	1.0	2.8	0.26
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.9	1.6	6.6	0.51
			ND=1/2*QL	2.9	1.6	6.6	0.54
			ND=1*QL	3.0	1.6	6.6	0.57
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3	0.61	2.8	0.31
			ND=1/2*QL	1.3	0.61	2.8	0.31
			ND=1*QL	1.3	0.61	2.8	0.31
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.2	2.2	9.4	0.82
			ND=1/2*QL	4.2	2.2	9.4	0.85
			ND=1*QL	4.2	2.2	9.4	0.88
クマ類 (脂肪) N=10	脂肪含量	%		88	91	96	70
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.13	0.097	0.50	0.000055
			ND=1/2*QL	0.17	0.13	0.50	0.067
			ND=1*QL	0.21	0.17	0.51	0.13
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.13	0.083	0.47	0.044
			ND=1/2*QL	0.15	0.10	0.48	0.068
			ND=1*QL	0.17	0.13	0.49	0.093
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.26	0.19	1.0	0.057
			ND=1/2*QL	0.32	0.24	1.0	0.15
			ND=1*QL	0.38	0.31	1.0	0.24
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.18	0.10	1.1	0.023
			ND=1/2*QL	0.18	0.10	1.1	0.023
			ND=1*QL	0.18	0.10	1.1	0.024
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.45	0.29	2.1	0.080
			ND=1/2*QL	0.50	0.35	2.1	0.17
			ND=1*QL	0.56	0.43	2.1	0.26
(脂肪・肝臓) N=6	脂肪含量	%		77	82	90	49
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.061	0.070	0.11	0.0023
			ND=1/2*QL	0.11	0.11	0.14	0.067
			ND=1*QL	0.16	0.16	0.18	0.13
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.30	0.16	0.71	0.13
			ND=1/2*QL	0.31	0.17	0.74	0.15
			ND=1*QL	0.32	0.19	0.75	0.16
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.36	0.23	0.80	0.15
			ND=1/2*QL	0.42	0.28	0.87	0.23
			ND=1*QL	0.48	0.34	0.93	0.30
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.086	0.051	0.28	0.019
			ND=1/2*QL	0.086	0.051	0.28	0.024
			ND=1*QL	0.087	0.051	0.28	0.029
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.45	0.29	1.1	0.18
			ND=1/2*QL	0.50	0.33	1.1	0.26
			ND=1*QL	0.56	0.38	1.2	0.34
タヌキ (肝臓) N=4	脂肪含量	%		10	11	14	4.1
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.2	3.3	8.6	1.4
			ND=1/2*QL	4.2	3.3	8.6	1.4
			ND=1*QL	4.2	3.3	8.6	1.4
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	17	12	35	7.4
			ND=1/2*QL	17	12	35	7.4
			ND=1*QL	17	12	35	7.4
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	20	17	40	8.8
			ND=1/2*QL	20	17	40	8.8
			ND=1*QL	20	17	40	8.8
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.5	1.6	6.2	0.64
			ND=1/2*QL	2.5	1.6	6.2	0.64
			ND=1*QL	2.5	1.6	6.2	0.64
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	23	21	42	9.7
			ND=1/2*QL	23	21	42	9.7
			ND=1*QL	23	21	42	9.7

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その6)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	*注)	平均値	中央値	最大値	最小値
タヌキ (脂肪・肝臓) N=5	脂肪含量	%		76	76	97	55
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	14	8.6	43	5.6
			ND=1/2*QL	14	8.6	43	5.6
			ND=1*QL	14	8.6	43	5.6
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	6.0	4.6	11	2.1
			ND=1/2*QL	6.0	4.6	11	2.1
			ND=1*QL	6.0	4.6	11	2.1
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	20	13	54	10
			ND=1/2*QL	20	13	54	10
			ND=1*QL	20	13	54	10
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	14	6.4	46	2.7
			ND=1/2*QL	14	6.4	46	2.7
			ND=1*QL	14	6.4	46	2.7
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	34	19	100	13
			ND=1/2*QL	34	19	100	13
			ND=1*QL	34	19	100	13
(脂肪) N=1	脂肪含量	%		82			
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	10			
			ND=1/2*QL	10			
			ND=1*QL	10			
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	6.3			
			ND=1/2*QL	6.3			
			ND=1*QL	6.3			
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	17			
			ND=1/2*QL	17			
			ND=1*QL	17			
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	11			
			ND=1/2*QL	11			
			ND=1*QL	11			
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	28			
			ND=1/2*QL	28			
			ND=1*QL	28			
(脂肪・肝臓・筋肉) N=1	脂肪含量	%		66			
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	5.6			
			ND=1/2*QL	5.6			
			ND=1*QL	5.6			
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.7			
			ND=1/2*QL	1.7			
			ND=1*QL	1.7			
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	7.3			
			ND=1/2*QL	7.3			
			ND=1*QL	7.3			
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.4			
			ND=1/2*QL	2.4			
			ND=1*QL	2.4			
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	9.7			
			ND=1/2*QL	9.7			
			ND=1*QL	9.7			
ニホンジカ (肝臓) N=25	脂肪含量	%		7.1	6.8	11	4.0
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.61	0.40	2.1	0.0031
			ND=1/2*QL	0.62	0.42	2.1	0.081
			ND=1*QL	0.64	0.43	2.1	0.16
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.9	1.3	6.6	0.29
			ND=1/2*QL	1.9	1.3	6.8	0.30
			ND=1*QL	1.9	1.3	6.8	0.31
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.5	1.7	8.7	0.39
			ND=1/2*QL	2.5	1.7	8.9	0.44
			ND=1*QL	2.5	1.7	8.9	0.49
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.0	0.96	4.2	0.38
			ND=1/2*QL	1.1	0.99	4.2	0.39
			ND=1*QL	1.1	0.99	4.2	0.39
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	3.5	3.3	10	0.93
			ND=1/2*QL	3.5	3.3	10	0.98
			ND=1*QL	3.6	3.3	10	1.0

*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果(その7)

(湿重量当たり毒性等量)

(コイ、カエル類、鳥類の括弧内は哺乳類のTEFで計算した値)

種名	調査対象物質	単位	*注)	平均値	中央値	最大値	最小値
ニホンジカ (脂肪・肝臓) N=5	脂肪含量	%		23	26	29	10
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.52	0.62	0.81	0.00025
			ND=1/2*QL	0.59	0.62	0.81	0.33
			ND=1*QL	0.66	0.66	0.81	0.48
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.7	2.8	3.6	0.72
			ND=1/2*QL	2.7	2.8	3.6	0.77
			ND=1*QL	2.7	2.8	3.6	0.84
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	3.2	3.6	4.2	0.72
			ND=1/2*QL	3.3	3.6	4.2	1.1
			ND=1*QL	3.4	3.6	4.2	1.5
(腎臓) N=28	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.3	1.2	2.0	0.64
			ND=1/2*QL	1.3	1.2	2.1	0.65
			ND=1*QL	1.3	1.2	2.1	0.65
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	4.5	5.2	6.1	1.4
			ND=1/2*QL	4.6	5.2	6.1	1.7
			ND=1*QL	4.7	5.2	6.2	2.1
	脂肪含量	%		5.9	4.4	15	2.0
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.90	0.36	5.8	0.19
			ND=1/2*QL	0.91	0.39	5.8	0.22
			ND=1*QL	0.94	0.41	5.8	0.24
(脂肪・腎臓) N=20	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.60	0.28	3.1	0.14
			ND=1/2*QL	0.63	0.32	3.1	0.16
			ND=1*QL	0.66	0.35	3.1	0.18
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.5	0.60	8.9	0.37
			ND=1/2*QL	1.5	0.66	8.9	0.40
			ND=1*QL	1.6	0.72	8.9	0.44
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	0.35	0.11	1.9	0.044
			ND=1/2*QL	0.35	0.11	1.9	0.045
			ND=1*QL	0.35	0.11	1.9	0.046
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.9	0.71	11	0.43
			ND=1/2*QL	1.9	0.77	11	0.46
			ND=1*QL	1.9	0.83	11	0.50
	脂肪含量	%		34	37	54	12
	PCDDs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.4	1.2	2.7	0.47
			ND=1/2*QL	1.4	1.2	2.8	0.47
			ND=1*QL	1.4	1.2	2.8	0.48
	PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	1.2	1.1	2.3	0.49
			ND=1/2*QL	1.2	1.1	2.3	0.49
			ND=1*QL	1.2	1.1	2.3	0.50
	PCDDs+PCDFs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.6	2.3	4.9	0.99
			ND=1/2*QL	2.6	2.3	4.9	1.0
			ND=1*QL	2.6	2.3	4.9	1.0
	Coplanar PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	2.7	2.3	5.5	0.98
			ND=1/2*QL	2.7	2.3	5.5	0.98
			ND=1*QL	2.7	2.3	5.5	0.98
	PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	pgTEQ/g	ND=0*QL	5.3	4.8	10	2.0
			ND=1/2*QL	5.3	4.8	10	2.0
			ND=1*QL	5.3	4.8	10	2.0

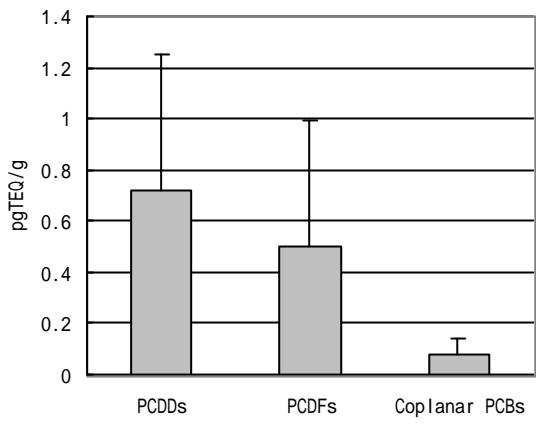
*注) ND=0*QL : 定量下限(QL)未満の数値を0として扱った場合

ND=1/2*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1/2を乗じて換算した場合

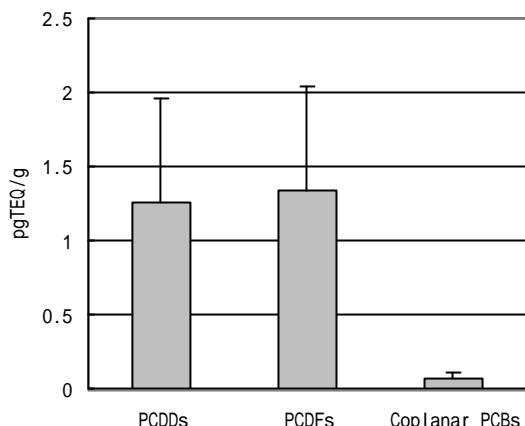
ND=1*QL : 定量下限(QL)未満の数値を定量下限値に1を乗じて換算した場合

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果
(湿重量当たり毒性等量)

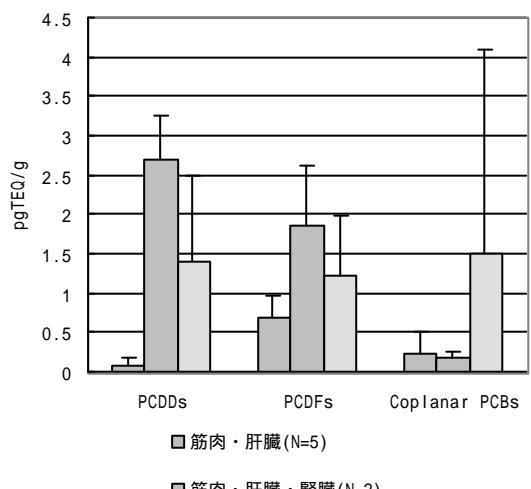
コイ



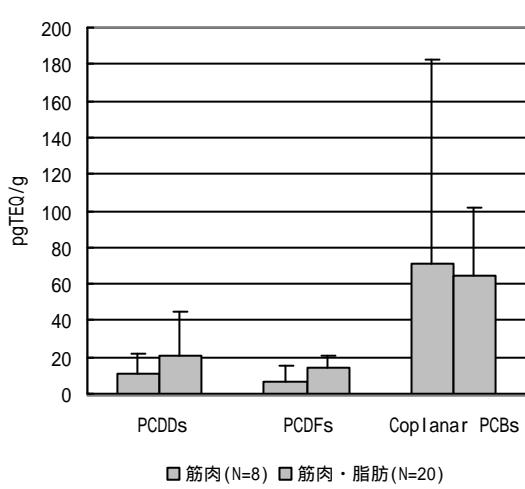
カエル類



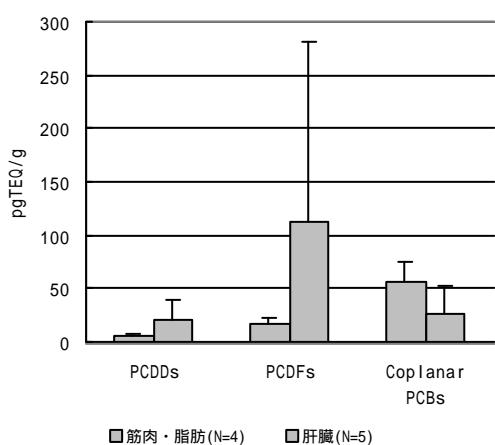
ドバト



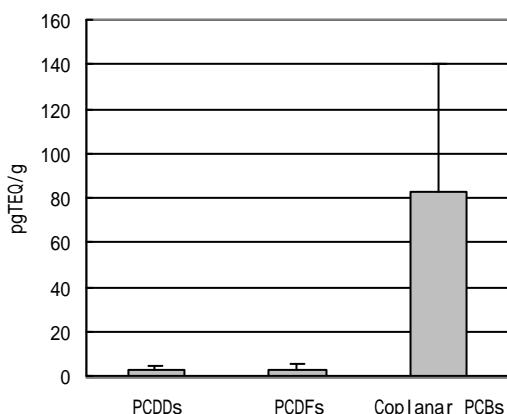
トビ



猛禽類

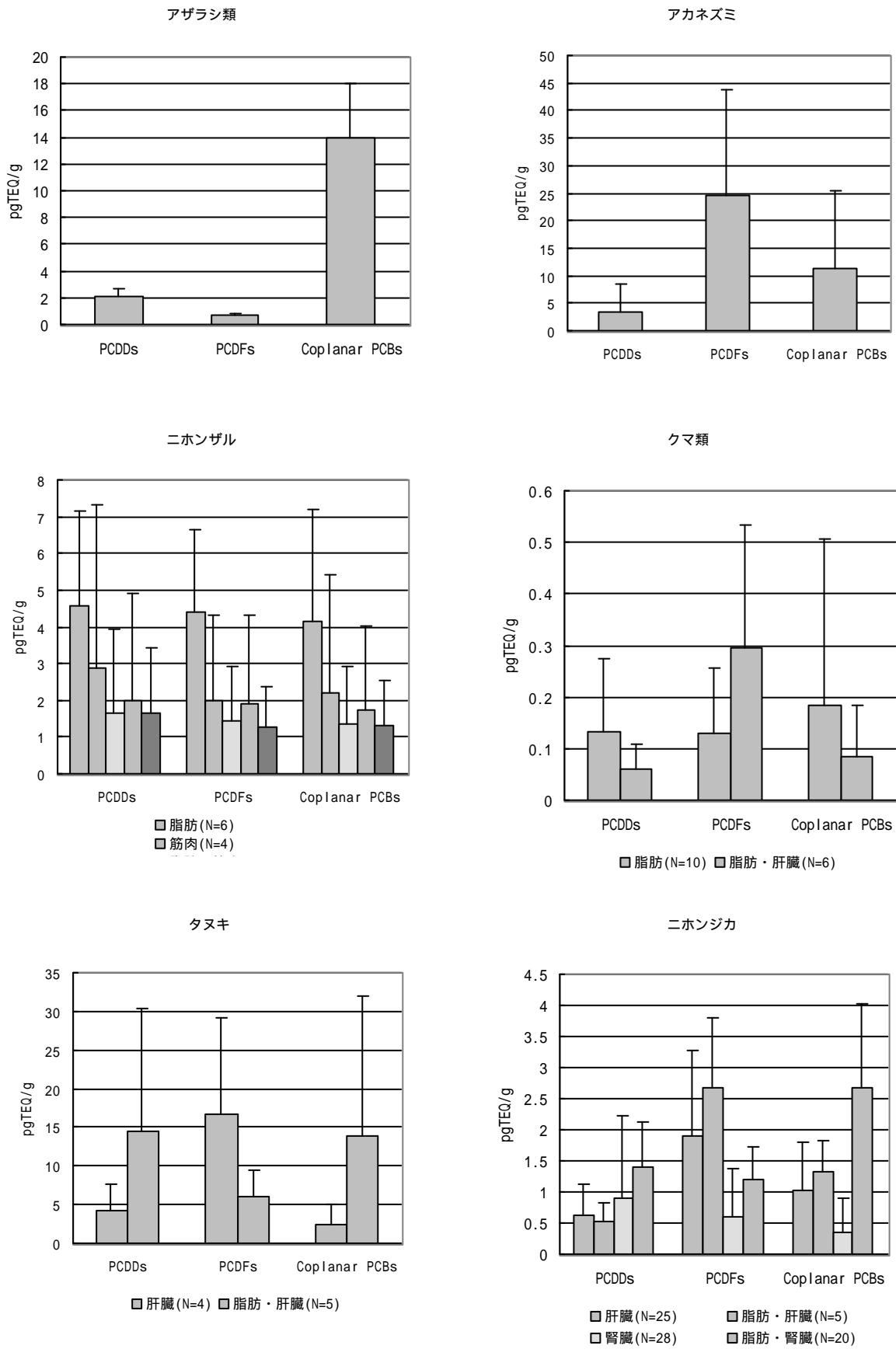


クジラ類



(平均値 + 標準偏差)

平成10年度 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査結果
(湿重量当たり毒性等量)



(平均値 + 標準偏差)